

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄情報通信センター	対象年度	令和3年度
------	------------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認	1
1.	維持管理業務	1
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 清掃 (2) 保守・点検 (3) 保安・警備 (4) 小規模修繕 (5) 備品購入 (6) 防犯・防災対策 (7) 料金徴収業務 	
2.	運營業務	5
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 利用実績 <ul style="list-style-type: none"> 1) 利用者数等（又は入居率等） 2) 施設稼働率 3) 教室・イベント等参加者数 (2) 運営企画 (3) 受付・接客 (4) 広報 (5) 情報管理 	
II.	サービスの質の評価	8
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 維持管理業務 2. 運營業務 3. 自主事業 4. 総合評価 	
III.	サービスの安定性評価（財務状況）	10
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 事業収支 <ul style="list-style-type: none"> (1) 収入 (2) 支出 2. 経営分析指標 	
IV.	総合評価	12
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 目標 2. 評価結果 	

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄情報通信センター	対象年度	令和3年度
指定管理者	沖縄情報通信センター管理運営コンソーシアム (構成員名:株式会社オーシーシー、ヤシマ工業株式会社) 指定期間:平成30年4月～令和5年3月	所管課	商工労働部 情報産業振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 共用部床掃き・拭き カーペット清掃 トイレ清掃 窓ガラス清掃 構内清掃、ゴミ拾い 消耗品補充、他		○	土・日・祝日を除き 毎日2名体制で実 施。新型コロナウイルス 感染拡大後、人 の手が触れる箇所 の消毒を日に3～5 回実施。	業務仕様書に 基づき、適正 に業務が行わ れている。	事業計画・事 業報告のとおり 実施されてい る。	適正に業務が行 われている。
〈定期清掃〉 床面洗浄 ワックス塗布 窓ガラス清掃 カーペット洗浄 ブラインド清掃		○	情報管理棟荷捌き 場・廃棄物置場の床 面洗浄は1回/月、 他区域の洗浄・ワッ クス塗布は4回/年、 窓ガラス清掃等は2 回/年、警備室やブ ラインドなどは1回/ 年			

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
貯水槽清掃	○		1回/年	業務仕様書に 基づき、適正 に業務が行わ れている。	事業計画・事 業報告のとおり 実施されてい る。	適正に業務が行 われている。
水質検査	○		2回/年			
簡易専用水道検査	○		1回/年			
空気環境測定 照度測定	○		1回/2ヶ月			
ねずみ・昆虫防除	○		2回/年			
浄化槽維持管理	○		2回/月			
消防設備保守点検	○		機器点検2回/年 総合点検1回/年			
エレベータ保守点検	○		定期点検3回/年 巡視点検1回/年 遠隔点検1回/月 性能検査1回/年			
自家用電気工作物 保安管理	○		月次点検1回/月 年次点検1回/年			
非常用発電機 保守点検	○		2回/年			
発電機用燃料タン ク保守点検	○		1回/年			
水蓄熱用空調 システム点検	○		月次点検1回/月 年次点検1回/年 リモート監視 24時間365日			

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
空調設備保守点検	○		室外機洗浄1回/月 圧縮機点検1回/月 フィルター清掃 1回/ 2ヶ月、ファン点検 1回/2ヶ月 室内機清掃等	業務仕様書に 基づき、適正 に業務が行わ れている。	事業計画・事 業報告のとおり 実施されてい る。	適正に業務が行 われている。
全熱交換機点検	○		2回/年			
給水設備点検	○		日常水質管理 毎日 残留塩素測定 1回/週 自主管理点検 1回/月			
給排気ファン点検	○		1回/年			
免震装置点検	○		1回/年			
中央監視装置点検	○		1回/年			
建屋内ネットワーク システム点検	○		1回/年			
電話設備点検	○		1回/年			
入退室管理・セキュ リティ装置点検	○		1回/年			
監視カメラ装置点検	○		1回/年			
電気温水器点検	○		3回/年			
湧水槽点検	○		4回/年			
植栽管理		○	36回/年			
廃棄物運搬		○	3回/週			
不具合対応訓練	○		1回/月			

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
守衛室・ゲート		○	入退者管理 毎日 受付業務 毎日	業務仕様書に 基づき、適正 に業務が行わ れている。	事業計画・事 業報告のとおり 実施されてい る。	適正に業務が行 われている。
入退室管理・セキュ リティ装置		○	日常監視 毎日 日常運転 毎日			
監視カメラ装置		○	日常監視 毎日 日常運転 毎日			
中央監視装置		○	日常監視 毎日 日常運転 毎日			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件30万円未満の 修繕を行う	○		<ul style="list-style-type: none"> ・情報管理棟(空調機ファンインバータ、湧水槽排水ポンプ用フロートスイッチ等、監視カメラ、指静脈認証装置用カセット修繕) ・ビジネス棟(差動式スポット型感知器、電気室換気扇修繕) ・エネルギー棟(発電機自動始動盤保守部品取替、返油ポンプ修繕) ・屋外冷凍機(自動エア抜き弁修繕) 	事業報告書の通りである。	事業計画・事業報告のとおり実施されている。	適正に業務が行われている。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要に応じ、予算の 範囲内で購入	○		各設備の適正な維持管理、および入居者への利便性向上のため備品(小型UPS2台、テーブル2台等)を購入。	事業報告書の通りである。	事業計画・事業報告のとおり実施されている。	必要に応じて適正に備品購入が行われている。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
防災訓練	○		令和4年2月25日実施 参加人数:17名	事業報告書の通りである。	事業計画・事業報告のとおり実施されている。	適正に業務が行われている。
AED取扱訓練、心肺蘇生訓練	○		<ul style="list-style-type: none"> ①令和3年10月7日 ②令和3年10月25日 ③令和3年12月8日 参加人数:26名 ※感染症対策のため、3回に分けて実施。	事業報告書の通りである。	事業計画・事業報告のとおり実施されている。	適正に業務が行われている。

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
調定報告書及び収 納金払込報告書の 作成	○		施設使用料等(光熱 水費含む)の請求及 び徴収	調定収納金報 告書の通りで ある。	事業計画・事 業報告のとおり 実施されてい る。	適正に業務が行 われている。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

1. 維持管理業務 取組改善案	概ね適正に業務が行われており、施設の運用管理の状況は良好である。
--------------------	----------------------------------

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 入居率等] ※利用者数等で測れない施設は「1) 利用者数」に代えて記載

	令和2年度実績	事業計画 (目標値)	平成3年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
入居率	令和2年度3月末 ビジネス棟 入居企業数:3社 入居率:60% (3室入居/計5室) 令和2年度3月末 情報管理棟 入居企業数:1社 入居率:100%(1棟)	入居率:100%	令和3年度3月末 ビジネス棟 入居企業数:3社 入居率:60% (3室入居/計5室) 令和3年度3月末 情報管理棟 入居企業数:1社 入居率:100%(1棟)	100%	80%	①ビジネス棟入居率: 60% ②情報管理棟入居率: 100% (①+②)/2=80%とな る。 令和2年度中に2社退 去。1社は業務拡大でIT 津梁パーク施設に移転 し、残りの1社は新型コ ロナの影響で規模縮小で 退去している。 空室となった区画につ いては、入居の問い合 せや見学があったもの の、入居には至ってい ない。 引き続き沖縄情報通信 センターHP等にて入居 者募集を行う必要があ る。

入居率等を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

B

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S:110%以上

A:100%以上、110%未満

B:80%以上、100%未満

C:80%未満

2) 施設稼働率(情報管理棟)

	平成2年度 実績	事業計画 (目標値)	平成3年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
平均稼働率	100.0%	100%	100%	100%	100%	適正に業務が行われて いる。
平日・土日祝日別稼働率	—	—	—	—	—	

稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

A

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S:110%以上

A:100%以上、110%未満

B:80%以上、100%未満

C:80%未満

3) 教室・イベント等参加者実績

	内容	平成2年度 実績	事業計画	平成3年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
イベント	入居企業連絡協議会	入居企業連絡協議会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催していないが、電子メールにより設備点検、駐車場利用ルール、次年度施設継続使用の手続きなどの連絡することで対応している。	1回/2ヶ月	第1回: 令和3年9月30日 第2回: 令和3年11月26日 第3回: 令和4年1月26日 第4回: 令和4年3月29日 新型コロナウイルス感染症拡大により開催を見合わせていたが、感染状況の改善及び令和3年度指定管理者運用委員会における委員の皆様のご指摘を踏まえ、令和3年9月から再開した。	-	67%	今後も新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視しながら、対面での実施の他オンラインや電子メールなどを活用したイベントの開催を継続して実施する必要がある。

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉	○設備・警備 365日 ○管理事務所 土日祝祭日 年末年始 休み	事業報告書の通りである。	事業計画・事業報告のとおりに実施されている。	適正に業務が行われている。
〈開館時間〉	○設備・警備 24時間 ○管理事務所 8:30~17:15			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
各入居企業からの要望等の窓口を一本化し、ワンストップで対応する。当施設を利用したい企業や見学者に対して、施設の概要説明を行う。	○		各入居企業への来客者等に対し、正面ゲート守衛室、管理事務所にてセキュリティを確保しながら確認を行い、各入居企業へ案内している。令和3年度の見学・視察において、企業団体37件(計160名)に対して施設の概要説明を行なった。	事業報告書の通りである。	事業計画・事業報告のとおりに実施されている。	適正に業務が行われている。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
沖縄情報通信センターのHPを作成し、当施設を利用して頂くよう情報提供を行う。	○		沖縄情報通信センターのHPを作成し、当施設の利用を考えている企業・団体に情報提供を行った。	事業報告書の通りである。	事業計画・事業報告のとおり実施されている。	適正に業務が行われている。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
各入居企業従業員へ配布しているICカードの情報、沖縄情報通信センターに来所する際の入城申請書は、業務目的外の閲覧を禁止とし、個人情報の保護を行う。	○		各入居企業従業員へ配布しているICカードの情報、沖縄情報通信センターに来所する際の入城申請書は、業務目的外の閲覧を禁止とし、施錠できる場所に保管している。	事業報告書の通りである。	事業計画・事業報告のとおり実施されている。	適正に業務が行われている。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定 管理者	委託 業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【新規】 ○○○○						
【拡充】 ○○○○						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	概ね適正に業務が行われており、施設の運用管理の状況は良好である。 空室区画については、引き続き「沖縄情報通信センター」のHP等で周知を行い、入居者募集に努める必要がある。 リモートでの施設見学に関して、ビジネス棟については対面での見学の要望が多いため、現在のところリモートでの見学の実績はないものの、要望があれば対応できるよう検討する必要がある。					
-----------------------------	---	--	--	--	--	--

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	令和2年度評価	令和3年度目標	令和3年度評価		
施設・設備	〈満足度〉75% ・満足50% ・やや満足25% ・やや不満25% ・不満0%	〈満足度〉90%	〈満足度〉75% ・満足75% ・やや満足0% ・やや不満25% ・不満0% (改善要望) ①エアコンの効きにばらつきがあり、同じラインの機器でも暑い・寒いが極端である。 ②女子トイレの数が不足している。	B ・入居者アンケートにおいて、「満足」と「やや満足」を合算すると75%の人が「満足」と回答している。 ・施設の整備業務については、入居者からの改善要望に対して迅速な対応を心掛け、対応が難しい問題に対しては県及び関係機関と連携し、適切な対応策を検討しているところであり、そのような取り組みが入居者から概ね高い評価を頂いている。 ・なお、沖縄情報通信センターの設備(セキュリティ、自家発電装置、居室、サロン、その他)についてやや不満が25%で、不満内容は2件あり、対応状況は下記のとおりである。 ・エアコンの効きのばらつきについては、R3.5に調査を行い、室内機洗浄および風量設定の変更で解決している。 ・女子トイレ数の不足については、半年に1回、男女の人数を調査し、R3.10頃から女性の人数増を確認しているところである。現状としては、女性の皆様には多目的トイレを含めてご利用いただいている状況である。今後は県と連携し、更なる対応策について検討して行く。	・適正に業務が行われている。 ・女子トイレ数について、令和2年度時点においては法定数を満たしていたものの、令和4年3月末時点におけるビジネス棟2階の女性就業者数で換算した場合、女子トイレ(便器)数が一割不足している状態である。(1階及び情報管理棟については不足なし)そのため、今後は女子トイレの増改築を含めた検討が必要である。
会議室の利用等	〈利用状況〉 利用あり:2社 利用なし:2社		〈利用状況〉 利用あり:1社 利用なし:3社 (改善要望) ・前払いから後払いとしてまとめたの請求へ変更してほしい。 ・前払いだと突発的な会議では利用できないため、現金払いでの対応も可能としてほしい。	・会議室の利用については、各社居室内でのリモート会議利用等もあり、会議室の利用がほとんどない。 また、料金支払い方法(後払い)については法令で定められており、原則前払いとなっている。 ・現金払いの要望については、運用変更が必要ことから県と相談し改善策を検討する。	・会議室の現金徴収については紛失等のリスクがあることから、慎重に検討すべきであるが、今後は県と指定管理者で見直しを含め対応策を検討していく必要がある。
接客対応	〈満足度〉75% ・満足75% ・やや満足0% ・やや不満25% ・不満0%	〈満足度〉90%	〈満足度〉100% ・満足75% ・やや満足25% ・やや不満0% ・不満0% (改善要望) ・特になし。	S ・入居者アンケートにおいて、「満足」と「やや満足」を合算すると100%の人が満足と回答。 管理事務所スタッフの対応・マナー・説明等のサービスについては、昨年の「やや不満」から「やや満足」へ改善ができた、今後も満足100%を目指してサービスの改善に努める。	・適切に業務が行われている。

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和2年度評価	令和3年度目標	令和3年度評価			
入居企業との意見交換	・コロナ禍で入居企業連絡協議会を開催できないため、メールで連絡を実施した。		・入居企業連絡協議会(計4回)を実施。 <改善要望> ・特になし	・入居企業連絡協議会を9月からメールにて再開し、入居者とのコミュニケーションの強化を図った。	・適切に業務が行われている。	
その他(意見・要望)			・令和3年10月1日よりサロンへ意見箱を設置し、アンケートと共に入居者からの意見要望を収集した。 <意見・要望> ・駐車場が足りない。駐車場割り当てに入居企業間で不公平感がある。適正な割り当てを行ってほしい。 ・サロンへ電子レンジを増やしてほしい。等	・定期的なアンケートの他、ご意見箱でも様々なご意見・ご要望を収集することができた。頂いたご意見・ご要望については、入居企業連絡協議会等でご報告させて頂いている。今後も入居者からのご意見・ご要望を真摯に受け止め適切・迅速な対応を実施していく。 ・なお、その他意見・要望については、下記の対応を行った。 ・駐車場の件については令和3年11月に現状調査を実施し、全体的に不足していることを把握している。また、令和3年5月に駐車場割当の不公平感については割当初の事情を説明したところである。当要望については、引き続き県と検討を行うこととする。 ・電子レンジの増設については、既に1台を設置していたところ、追加で設置し、計2台を利用して頂いている。	・適切に業務が行われている。 ・昨年度、駐車場拡張に向けての検討を行ったが、物理的にこれ以上の拡張は困難であるため、今後は入居者の状況を確認した上で現在の敷地の範囲内で代替案が出せないか引き続き県と指定管理者で検討する必要がある。	
総合評価 (各評価項目の平均)	<満足度>75%	<満足度>90%	<満足度>87.5%	評価 (②満足度) A	・入居者からは概ね満足という評価を頂いているが、施設・設備面(女子トイレ・駐車場)での改善要望がある。 ・すぐに解決できる問題ではないことから、代替策なども検討しながら県と共に解決へ向けて取り組んでいきたい。	・概ね適正に業務が行われている。 ・定期的なアンケートの他、令和3年10月より施設内に意見箱を設置し、随時入居者からの要望等に対応しており、入居者からの評価も概ね良好である。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

II. サービスの質の評価 取組改善案	施設の管理運営の状況は概ね良好である。 定期的なアンケートだけでなく、ご意見・ご要望を適時適切に確認できるご意見箱を令和3年10月より設置している。 なお、駐車場及びトイレについては、県と指定管理者で引き続き検討する必要がある。
------------------------	--

※「II. サービスの質の評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H30年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	○ホール						
	△△会議室						
	□□室						
	レストラン						
	売店						
計							
指定管理料		106,786,572	106,786,572	106,754,548	100%	100%	
自主事業収入							
	計						
合計(A)		106,786,572	106,786,572	106,754,548	100%	100%	
〈現状分析・課題〉							
指定管理者の収入は指定管理料のみである。							

(2) 支出

支出項目	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
人件費	14,017,860	14,017,870	14,017,860	100%	100%		
消耗品費	1,046,416	953,701	1,060,683	101%	111%	A重油等高騰の為	
燃料費	45,024	60,370	53,823	120%	89%	車両使用を削減した為	
印刷製本費	47,648	112,777	60,738	127%	54%	カラー印刷を削減した為	
光熱水費	1,008,406	1,047,518	1,098,041	109%	105%		
修繕費	1,325,610	1,018,518	1,194,952	90%	117%	設備経年劣化による故障、不具合が増加した為	
通信運搬費	230,753	244,444	215,651	93%	88%	通知書送料の減の為	
広告料	26,400	244,444	268,400	1017%	110%	HP脆弱性対策実施の為、(HP更新作業実施)	
手数料	18,810	22,407	18,695	99%	83%	他行への振込手数料が減額となった為	
保険料	163,990	142,593	164,290	100%	115%	保険料値上げの為	
設備管理費	20,636,208	20,636,204	20,636,212	100%	100%		
設備保守点検	36,157,956	36,157,410	36,157,956	100%	100%		
清掃管理費	7,093,248	7,092,962	7,093,248	100%	100%		
植栽維持管理費	3,564,792	3,564,815	3,564,792	100%	100%		
サーバ室専用空調設備保守費 (委託)	6,745,200	6,746,666	6,745,200	100%	100%		
保安全管理費(委託)	13,933,920	13,934,353	13,933,920	100%	100%		
使用料及び賃借料	325,400	280,260	327,120	101%	117%	電話機リース更新の為	
備品購入費	396,803	509,260	142,967	36%	28%	修繕、消耗品等での不足分の調整を行った為	
合計(B)	106,784,444	106,786,572	106,754,548	100%	100%		
〈現状分析・課題〉							
予算額より大幅に実績の少ない印刷製本費、備品購入等については、今後も増加が見込まれる修繕費と消耗品費へ配分できるよう次年度の事業計画の見直しを行った。							
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。							

2. 経営分析指標

評価指標	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	2,128	0	0	0%	100%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	0%	0%	0%	0%	100%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))						
人件費比率 (人件費/支出(B))	13%	13%	13%	100%	100%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	19%	19%	19%	100%	100%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)						
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)						
(現状分析・課題) 財務状況については、概ね適正である。						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)	A
-----------	---

【評価基準 (③財務状況)】
 収益率 (事業収支/収入合計)
 A : 0%以上
 B : -5%以上、0%未満
 C : -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	指定管理者の収入は指定管理料のみで運営しており、指定管理に係る財務状況は概ね適正である。修繕費や消耗品費については、計画よりも支出が多い傾向が続いていることを踏まえ、次年度の事業計画ではより実績に応じた予算配分を行った。
----------------------------------	--

※「Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	備考	
成果指標	①利用状況	入居率等	100%	100%	100%	100%	
	②満足度	満足度	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	
財務指標	③財務状況	収益率	0%以上	0%以上	0%以上	0%以上	

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和2年度実績	事業計画(目標値)	令和3年度実績	現状分析・課題		評価	取組改善案	令和4年目標値
					前年比	計画比			
成果指標	①利用状況	入居企業数: 3社 入居率(入居室数/総室数): 60%	入居率 100%	入居企業数: 3社 入居率(入居室数/総室数): 60%	100%	80%	B	概ね適正に業務が行われており、施設の運用管理の状況は良好である。空室区画については、引き続き「沖縄情報通信センター」のHP等で周知を行い、入居者募集に努める必要がある。リモートでの施設見学に関して、ビジネス棟については対面での見学の要望が多いため、現在のところリモートでの見学の実績はないものの、要望があれば対応できるよう検討する必要がある。	100%
	②満足度	入居企業数: 1社 入居率: 100%		入居企業数: 1社 入居率: 100%	117%	97%	A	施設の管理運営の状況は概ね良好である。定期的なアンケートではなく、ご意見・ご要望を適時適切に確認できるご意見箱を令和3年10月より設置している。なお、駐車場及びトイレについては、県と指定管理者で引き続き検討する必要がある。	90%以上
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	100%	100%	A	指定管理者の収入は指定管理料のみで運営しており、指定管理に係る財務状況は概ね適正である。修繕費や消耗品費については、計画よりも支出が多い傾向が続いていることを踏まえ、次年度の事業計画ではより実績に応じた予算配分を行った。	0%以上
活動指標	④重点取組事項	利用促進 利便性向上 効率化 適正化 経費節減 安全安心 等	データセンターとして常時稼働し、その機能を維持した。	データセンターとして常時稼働し、その機能を維持した。	100%	100%	A	修繕費が増加傾向にあることから、施設の運用管理において、更に万全を期する必要がある。	100%

総合評価

B

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S：110%以上
- A：100%以上、110%未満
- B：80%以上、100%未満
- C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

- S：90%以上
- A：80%以上、90%未満
- B：70%以上、80%未満
- C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

- A：0%以上
- B：-5%以上、0%未満
- C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S：目標を大きく上回る
- A：目標を概ね達成
- B：目標を下回る
- C：目標を大きく下回る

【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

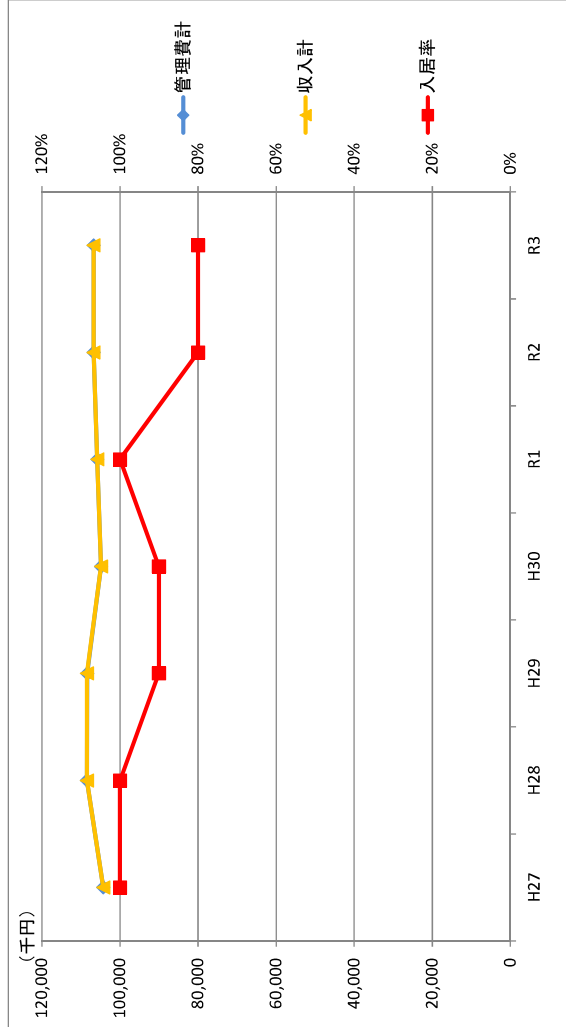
【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

経営状況分析シート【施設名称：沖繩情報通信センター】

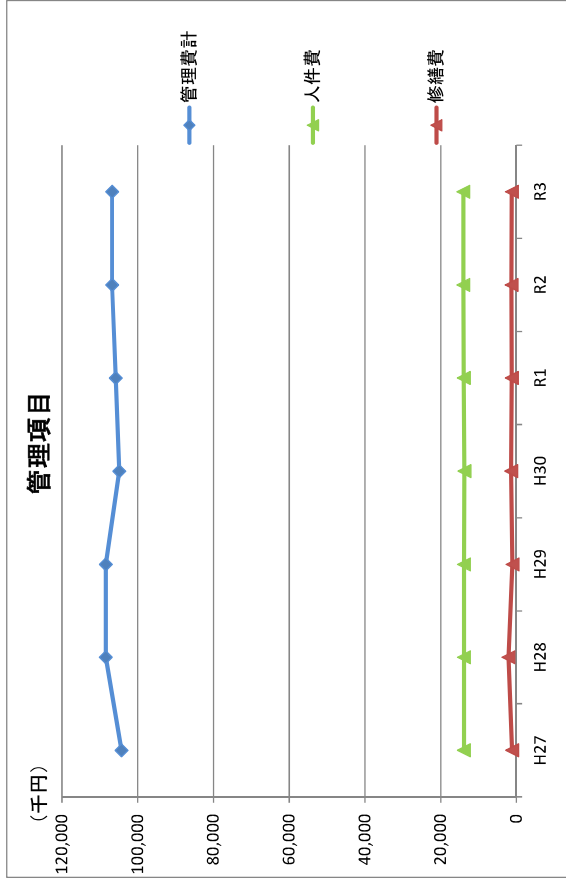
指標		指定管理																			
		単位	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
成果指標	利用者数	目標	%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	%	100%	100%	90%	100%	100%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%
財務指標	指定管理料	H27比	%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	負債割合(指定管理料/管理費計)	千円	104,293	108,457	108,457	104,832	105,815	106,787	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755
管理項目	利用料金収入	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計	千円	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
管理項目	管理費計	千円	104,284	108,445	108,429	104,832	105,802	106,777	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755	106,755
	収支	千円	9	11	28	0	13	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理項目	収益率(収支/収入計)	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	人件費	千円	13,835	13,835	13,835	13,763	13,890	14,017	14,018	14,018	14,018	14,018	14,018	14,018	14,018	14,018	14,018	14,018	14,018	14,018	14,018
管理項目	修繕費	千円	1,112	2,113	1,029	1,352	1,174	1,326	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行ってください。



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

R3年度	特になし。
R2年度	入居企業2社退去に伴う入居率の減。
R元年度	特になし。
H30年度	修繕費については、台風24号の被害による復旧と対策等のため執行額が増加した。



目標設定の考え方 ※目標設定の根拠や考え方を記載

R3年度	データセンターの利用率向上を図るため、入居率100%を目標とする。
R4年度	データセンターの利用率向上を図るため、入居率100%を目標とする。
R5年度	データセンターの利用率向上を図るため、入居率100%を目標とする。
R6年度	データセンターの利用率向上を図るため、入居率100%を目標とする。